



開物成務

令和7年度校友会総会開催

令和7年度校友会総会は6月14日(土)、母校徳間記念ホールで開催された。

今年は葉袋会長になって初めての総会になる。

来賓として逗子開成学園黒理事長、逗子開成中学・高等学校から小和田学校長、高階PTA会長をお迎えした。

学校法人より、柳瀬理事(賛助会)と水谷理事にもご参加いただいた。

午後2時、総会に先立ち、吹奏楽部OB会が矢部政男さん(高22回)の指揮により「開成マーチ」を演奏された。

その後、矢込泰敏幹事長(高41回)の司会で開会が宣言され、次に吹奏楽部OB会の演奏にあわせ、参加者全員で校歌斉唱。令和6年度に亡くなられた校友に対し黙とうの後、来賓の紹介へと進



葉袋校友会会長

んだ。

続いて葉袋純二校友会会長(高29回)が挨拶。校友会の現状と今後の方針について紹介、一層の会員相互の協力を依頼した。

議事に入るにあたり、議長に網倉大介副会長

(高37回)が選出された。

第1号議案として、令和6年度事業及び決算報告、会計監査報告、第2号議案として、令和7年度事業計画(案)、予算

(案)が上程審議され、いずれも原案の通り承認可決された。

今回も第1号議案である事業報告ではスクリーンにパワーポイントの画

像、映像を映し出し、野間幹事と橋山幹事中心に事前に協議と修正を重ね、昨年に比べ完成度の高い資料を基に、より分かりやすい説明を行った。

第1号議案

令和6年度事業報告

令和6年度は1〜3項の各項を目標とし活動してまいりました。中でも会費納入校友は長い間減少が続く、特に重点的に取り組みましたが結果としては791名となり前年比156名減となりました。

なお財政基盤の強化はあくまでも年会費納入校友の増員であり、今回の減員の分析を令和7年度上期中に行い下期につな

げたいと考えます。

1. 財務基盤の強化

(1) 寄付金・賛助金制度の確立

年会費会員数 791名
年会費 158万2千円
賛助金会員数 204名
賛助金額 87万1千円

した。しかし令和6年度から本格開始した賛助金は204名の校友から87万1千円の入金を頂きました。

その結果会費と賛助金の合計は245万3千円となり、令和7年度校友会活動に大きく寄与した。

また、地区会においては横須賀会と三浦会が交流を深め、横須賀・三浦会として地域校友の相互コミュニケーションを推進することとなりました。

2. 各種イベントの開催

(1) 校友会本部としてのイベント

① 6/29父親懇談会でグッズ販売...7万4千円

(カード決済1万円)

② 7/12及び16、生徒会とのコラボによるげんべい製ビーチサンダル販売...計8万2千円

発行責任者
逗子開成学園校友会
〒249-8510
逗子市新宿2-5-1
逗子開成学園内
TEL.046(871)2062
<https://z-kaisei.org/>
E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
人間性を開拓・啓発し、
人としての務めをなす

(2) 決済手段(会費ペイ)の本格運用
会費ペイ利用者 98名
金額 25万6千円

①「会費ペイ」...若い世代に浸透、会費等入金校友の約10%が利用

②グッズ販売においても50%がカード決済

(3) Webでのグッズ販売とそれに伴うグッズ開発や発送作業の確立

①8月に実施し、51名24万5千円の売り上げ達成

②発送までの作業は常任幹事が行い、毎回4人が発送作業に従事

③今年是在庫売却に専念し、グッズの新規開発は見合わせ

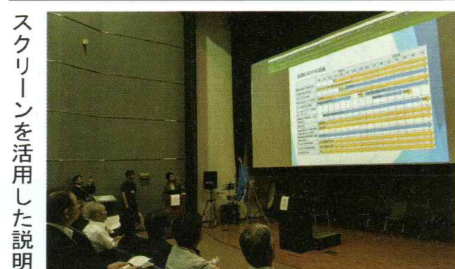
2. 各種イベントの開催

(1) 校友会本部としてのイベント

③ 8/18夏祭りin新宿(於、新宿会館 母校からの要請により参加)
④ 第16回校友会ゴルフ大会...10/23 於、葉山国際CC 参加者26名(令和5年36名)
⑤ 10/26〜27開成祭に参加...展示(校友の紹介、グッズ販売、喫茶コーナーを展開、PTA・賛助会との協働(来場者約1千名)

(2) 地区会等のイベント開催
① 横須賀・三浦会...懇親会、令和7/1月35名にて開催、7/11母校高校野球夏の神奈川大会観戦10名、8/10プロ野球観戦19名、令和7/3/30花見大会 於、ヴェルニ公園&しゃぶ葉 参加者18名

次ページに続く



スクリーンを活用した説明



②川崎横浜会…クルージング大会7/27 於、葉山新港 参加者33名
 ③52会企画…8/1、3八方尾根慰霊登山参加者7名
 ④湘南会…バーベキュー大会 10/5 於、弁慶果樹園 参加者20名
 ⑤鎌倉会…1/25ボート遭難碑清掃10名、2/15田邊学祖墓参6名
 (3) ビジネス交流会の実施
 川崎横浜会…11/15ビジネス交流会 於、横浜「煌蘭」 校友13名 校友会幹事7名
 (4) 母校との連携強化
 ①5/25ホームカミングデー…卒業後20年と10年を対象に実施
 ②令和6年1月30日校友による母校での講演…生徒会主催120周年講演会にて葉袋佳祐氏(2004年卒 高56回 名城大法学部准教授) 演題…我々は戦争にどう立ち向かうか
 ③オール逗子開成交流プラットフォームへの協働参画
 ④柴田常任幹事、母校と協働で校史編纂開始
 (5) 生徒留学及びクラブ対外競技支援と校内に

対する表彰
 留学生支援…11名29万円
 クラブ対外競技支援…9件22万円
 校内競技等表彰…7件7万5千円
 3. 校友会のPR
 (1) YouTubeの活用で企画配信等
 ①14本を配信。チャンネル登録者数500人超
 ②開成祭や学校の先生が映る動画は広く受け入れられてる傾向確認
 ③会報「開物成務」71号、72号の発行及び会員への配布等 以上
 第2号議案
 令和7年度事業計画(案)
 令和6年度は新たな会費決済方法の導入やWebでのグッズ販売強化により、一定の成果は得られました。
 令和7年度はまず会費納入会員の減少の原因を探り、これを回復させることを大きな目標とします。
 これらの施策の他、各種イベント運用による幅広い校友に寄与する活動を行うこととします。
 1. 財務基盤の強化
 (1) 会費納入会員の増強…地区会会員の新規勧誘及びクラブOB会と校

友会の連携による会員増強の検討と推進
 (2) 学校に関連する行事に参画し、新たな会費会員の獲得
 (3) 会費決済方法(会費ペイ)の更なる促進
 (4) Webでのグッズ販売の拡充とそれに伴うグッズ開発
 (5) 会報「開物成務」への広告の新規獲得
 2. 各種イベントの開催
 (1) 校友会本部としてのイベントの検討
 (2) 地区会のイベント開催
 (3) ビジネス交流会の年1回の実施
 3. 校友会のPR
 (1) 土曜講座への参加(学校運営による希望授業制度への講師派遣)
 (2) 同窓会の実施支援
 (3) ホームページ、オール逗子開成プラットフォーム、SNSを活用した校友会の活動やイベントの発信
 (4) YouTubeの活用で企画配信等
 (5) 学校行事、PTA行事への参画による校友会活動の案内
 (6) 会報「開物成務」73号、74号の発行及び会員への配布



目黒泉理事長

4. 地区会活動の活性化サポート
 各地区会においての活動ならびに、地区会の体制強化サポート 以上
 ◇
 令和7年度の総会では会員の皆様の承認を得て無事に閉会しました。
 議事終了後、高校3年生の高階賢司君による留学報告が披露されました(P3参照)。
 その後来賓の方の挨拶をいただき、目黒泉理事長からは私学法の改正による本学の対応と、130周年に向けた校舎建て替えが具体的に動き出したことなど、中長期の課題に向けた取り組みが話されました。
 続いて小和田亜土校長からは現在の生徒達についての話があり、自主的に時間や行動を管理していること、部活動以外で社会に目を向けた活動を行っていることが報告されました。



高階PTA会長

高階PTA会長からはご子息の留学報告と合わせ、親子で校友会総会に関わったこと、昨年から校友会と共に活動する機会を得て感じたことなどを話されました。
 総会の締めくくりは吹奏楽部OB会によるアトラクションの演奏が行われました。今回は41名と過去最多の参加をいただき、層の厚い演奏を披露していただきました。このメンバーの中には吹奏楽部顧問の千葉先生もトロンボーン奏者として参加されています。
 今回、矢部さんの作曲で1993年全日本吹奏楽コンクール課題曲(第3回朝日作曲賞入選作)「マーチ・エイプリル・メイ」も初めて披露されました。その他にも趣向



小和田亜土校長



矢部政男さん(高22回)の指揮による吹奏楽部OB会の演奏

を変えた選曲と素晴らしいアレンジの逗子開成サウンドを披露いただき、満喫しました。
 2013年より指揮を振っていた矢部さんが今年の演奏をもって勇退されることになりました。今までの校友会総会への取り組みに感謝し薬袋会長より記念品を贈呈しました。
 全てのプログラムが終了し、場所を海洋教育センターに移して令和7年度の懇親会が行われました。

志村政俊特別顧問(高17回)の乾杯の音頭でスタート。年齢の垣根を越えて和やかな懇談の時間を過ごしました。
 宴もたけなわの中、吹奏楽部OB、5名のトランペット演奏で校歌・応援歌、真白き富士の根を大合唱、トランペット5重奏と続き最後に後藤前校友会会長のリーダーにより校歌とエールで締めくくり懇親会を終了しました。

留学報告

高校3年 高階 賢司

校友会では留学する生徒に対し助成制度を設け支援しています。

今回、長期海外留学をした高階賢司君が校友会のために総会にて留学報告を行いました。

高階君が経験した、留学について話した内容は素晴らしい、途中で留学が打ち切れ帰国しなければならぬ状況でありながら、新たな目標を見つければいい、そこでより深い海外経験を、将来の目標に結び付けていく事を分かりやすく説明されました。

発表の場を了承していただいた高階君のお父様で、PTA会長の高階様、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

海外留学が、生徒にとって大変有意義な経験を



する場であることを改めて実感し、これからの支援を続けていきます。

ここに高階君の報告の要旨を掲載します。

●アメリカに留学した兄からの影響で海外留学を考えるようになり、漠然とした海外への興味ではあったが、いくつかの留学先の候補からヨーロッパのオランダに行くこととなった。

●オランダではアペルドールンという街に留学(2023年9月～12月)したが、次のホストファミリーが見つからず志半ばで帰国しなければならなかった。

●帰国後に再留学先を探

しアイルランドへの留学が決まった。モナハンという田舎の地域に滞在(2024年1月～)家の周りは田園が広がる土地だった。

●ここは北アイルランドの国境に近い街で北アイルランド紛争を学ぶきっかけとなった。友達やホストファミリーとの会話は深く記憶に残った。北アイルランドの主都ベルファストにも訪問し、ここでより分断を実感することとなった。

●留学を振り返って

・英語力の向上

・海外が身近なものになった

・社会問題への関心が広がる(移民・難民問題等)

・大学でもまた留学したい



第1号議案

収 支 計 算 書
令和6年4月1日～令和7年3月31日

返子開成学園校友会
単位: 円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
一般会計			
＜経常収入の部＞			
総会参加費	420,000	392,000	△ 28,000
入会金収入	1,330,000	1,320,000	△ 10,000
会費収入	2,200,000	1,582,000	△ 618,000
地区会費	(2,000,000)	(1,464,000)	△ (536,000)
個人会費	(200,000)	(118,000)	△ (82,000)
広告収入	100,000	0	△ 100,000
事業収入	1,300,000	1,276,634	△ 23,366
忘年会参加費	350,000	276,000	△ 74,000
祝儀収入	80,000	50,000	△ 30,000
寄付金・賛助金	350,000	870,900	△ 520,900
活動費戻入	—	53,856	△ 53,856
雑収入	5,000	0	△ 5,000
前受金収入	20,000	38,000	△ 18,000
受取利息	800	273	△ 527
経常収入合計①	6,155,800	5,859,663	△ 296,137
＜経常支出の部＞			
総会費用	550,000	382,089	△ 167,911
会議費	10,000	0	△ 10,000
事務費	50,000	10,301	△ 39,699
印刷費	70,000	275,081	△ 205,081
通信費	400,000	948,746	△ 548,746
支払手数料	50,000	41,749	△ 8,251
広報費	350,000	382,089	△ 32,089
慶弔費	100,000	183,000	△ 83,000
事業支出	900,000	947,760	△ 47,760
新入生記念品	120,000	109,120	△ 10,880
卒業生記念品	530,000	498,950	△ 31,050
活動費	450,000	560,890	△ 110,890
生徒顕彰費	80,000	75,155	△ 4,845
奨学生支援費	50,000	0	△ 50,000
海外留学生支援費	350,000	290,000	△ 60,000
クラブ活動助成費	200,000	246,000	△ 46,000
情報管理費	500,000	418,617	△ 81,383
地区会援助金	1,000,000	717,000	△ 283,000
忘年会費用	300,000	271,832	△ 28,168
前受金支払	2,000	0	△ 2,000
雑費	5,000	404	△ 4,596
予備費	50,000	0	△ 50,000
経常支出合計②	6,117,000	6,358,783	△ 241,783
経常収支差額①-②	38,800	△ 499,120	△ 537,920
（その他資金収入の部）			
前期末未収入金	0	0	0
その他資金収入合計	0	0	0
（その他資金支出の部）			
前期末未払金	0	0	0
固定資産取得支出	720	287	△ 433
その他資金支出合計	720	287	△ 433
当期収支差額	38,080	△ 499,120	△ 537,200
前期繰越収支差額	1,193,696	1,193,696	0
次期繰越収支差額	1,231,776	694,576	537,200

第2号議案

令和7年度 予算(案)
令和7年4月1日～令和8年3月31日

科 目	予 算 額	摘 要	6年度実績
一般会計			
（経常収入の部）			
総会参加費	420,000	総会懇親会参加60名×@7,000円	392,000
入会金収入	1,340,000	268名×@5,000円(4年間)	1,320,000
会費収入	1,800,000	900名(地区会850名+地区外50名)×@2,000円	1,582,000
広告収入	100,000	会報掲載等	0
事業収入	1,300,000	新グッズ企画と販売促進	1,276,634
忘年会参加費	350,000	会費制(50名×@7,000円)	276,000
祝儀収入	80,000	総会、忘年会等	50,000
寄付金・賛助金	900,000	校友から	870,900
立替活動費戻入	—	—	6,356
雑収入	5,000	—	0
前受金収入	40,200	年会費前納分	38,000
定期預金解約収入	—	—	0
受取利息	800	定期預金他	273
経常収入合計	6,336,000		5,859,663
（経常支出の部）			
総会費用	550,000	懇親会費用、総会業書受取人払郵送料、総会事務費	382,089
会議費	10,000	—	0
事務費	50,000	事務用品費(文房具・コピー用紙・宛名ラベル・インク他)	10,301
印刷費	200,000	総会案内状・出欠用ハガキ印刷・封筒印刷	275,081
通信費	400,000	総会案内状・会報郵送料、会員増強費	948,746
支払手数料	50,000	年会費払込料金加入者負担分	41,749
広報費	350,000	会報編集・印刷費、取材諸経費	382,089
慶弔費	100,000	学校行事祝儀、香典等	183,000
事業支出	900,000	グッズ制作	947,760
新入生記念品	120,000	中学入学祝、	109,120
卒業生記念品	550,000	高校卒業祝(校章・校名入りボールペン)	498,950
活動費	600,000	会員増に繋げる行事活動参加等 校友のネットワーク作り	560,890
生徒顕彰費	80,000	コンテスト等入賞者へ校友会賞、持久走メダル贈呈	75,155
奨学生支援費	50,000	振興会奨学金制度の補完として、教材費を支給	0
海外留学生支援費	350,000	長期留学生(人/30,000)短期留学生(人/20,000)	290,000
クラブ活動助成費	250,000	関東大会(20,000) 全国大会(30,000)	246,000
情報管理費	500,000	HP維持・管理費 インターネット接続料、FileMakerデータ管理料他	418,617
地区会援助金	850,000	850名×@1,000円	717,000
忘年会費用	300,000	—	271,832
前受金支払	6,200	年会費前納分 2000+2000+2000+200	0
雑費	5,000	—	404
予備費	50,000	—	0
経常支出合計	6,321,200		6,358,783
経常収支差額	14,800		△ 499,120
固定資産取得支出他	720		287
前期繰越金	694,576		1,193,696
次期繰越金	708,656		694,576

主将 河田 大智(高74回)

早稲田大学ヨット部



末筆ながら、皆さまの今後ますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

主将 田中大和(高74回)

そういった経験を通して、自身の人間的な成長も確かに感じていまし

ります。
ヨットとの出会いを与えてくれた逗子開成、そ

た。その頃から、ヨットへのモチベーションは、ヨットの競技性そのものから、目標に向かって仲間と協働することの愉しさへと変わっていったのだと思います。

そして大学ヨット部において



も、この想いは
変わっておりま
せん。残り少な



この歴史を後世に伝えるためには、学校史資料を保存・活用していくことが重要です。母校には多数の資料が保管されていますが、まだまだ十分

ご連絡は、逗子開成学園校友会ホームページ「記録・資料」内「校史編纂」の中にある「Webフォーム」からお願い致します。



校友の輪・リレー寄稿 (第1回)

新潟・記憶でつなぐ

芳本 卓也 (高63回)

記念すべき本コーナーの初回をお任せ頂き、私なかでいいのだろうかと思縮しております。

私は逗子開成を卒業後、青山学院大学に進学し、新卒で入社した新潟県の地元紙「新潟日報」で記者として働いています。穏やかな逗子湾を眺めていた日々から一転、荒波の日本海、冬は豪雪で一面の銀世界で暮らしています。吹奏楽部O

山形放送

門田 和弘 (高39回)

山形放送の門田和弘です。逗子開成を卒業して38年！思い出ベスト3を挙げます。3位(1学年がP組まであり、私はO組：確か英語選抜クラス)2位(体育祭は強制的に応援団へ：逗子の浜辺のくナミコさん

♪)1位(プールの授業はブルーのスケスケ小さな競泳パンツ)といった事を懐かしく思い出しました。部活は入部せずにアルバイト三昧の毎日でしたが、将来

0年から写真記者(カメラマン)となり、J1アルビレックス新潟の撮影担当もしました。

現在は長岡支社で写真記者をしています。昨年は中越地震から20年の節目、戦後80年の今年は長岡空襲から80年という節目を迎え、どのような写真を撮れば読者の目を引くか、試行錯誤の日々です。日本三大花火の一つ「長岡花火」は、ついシャッターを切るのを忘れるほど感動的で、今年の取材も楽しみです。

新潟では少子高齢化によって中山間地の学校がなくな

朝!の山形キャスターや「夕方ワイド」などを担当、ラジオは「スポーツ実況」「朝の情報番組」などを担当し、33年間に渡りマイクの前で喋ってきました。その間に欲が出て(笑)色々な事にチャレンジしてみたくなり、ステーションソング「ふにゅんといっしょ」を作詞作曲してみたり、自分で企画したCMやラジオ番組を作ってみたり、今ではいつの間にか番組ディレクターです。挑戦の人生って楽しいですね!

皆さん「ラジオ」は聴きますか?想像力を使う媒体



だからこそ、様々な世界が広がります。数年前「豪雪地の雪下ろし」空から冷蔵庫が降ってきた!という番組を作りました。どんな光景を想像しますか? YouTubeで配信していますので、試してみたい。ラジオの魅力を感じることが出来ますよ!

なるなど、伝統文化や地域コミュニティの衰退・消滅が深刻です。人々の営みの痕跡は、記録しなければならぬ。忘れたらなくなる。私たちが新聞記者は、その文化や地域の維持発展に直接手出しすることは難しいかもしれませんが、後世に記録として残していく責務があると思っています。私たちが日々取材し紙面に残すことによって、多くの県民、読者に今一度、私たちの地域や暮らしの明日を考えるきっかけを提供し、時にアクションを起こす起

爆剤になれたらと思っています。そして、今を生きる新潟人の姿を何十年後、何百年後の人が知ることができ、その一助となると信じ日々過ごしています。日本史、世界史の授業で何百年も昔の人々の暮らしや政治を学べるのも、紙という記録媒体に先人たちが記録し残してくれたからこそです。



思いいます。略譜 吹奏楽部でトランペットを演奏し、今も市民オーケストラや吹奏楽部OB会で演奏を続けています。2011年3月、逗子開成高等学校卒業。同年4月、

青山学院大学総合文化政策学部入学。2015年3月同大卒業。次回は、同じ高63回の林晃之介君にリレーします。母校の社会科教員として教壇に立っています。

「オール逗子開成」交流プラットフォームへのご登録のお願い

卒業生の皆様

このたび、逗子開成では、卒業生・卒業生保護者・教職員OB・OGを含めた「オール逗子開成」交流プラットフォームを構築いたしました。

このプラットフォームは、学校と卒業生、卒業生相互がつながる母校逗子開成の情報を卒業生のスキルや経験などを活かして、母校の後輩を応援することが出来るサイトです。

学校としても、進路指導やクラブ活動などで卒業生のみならずのご協力をいただく機会が増えてまいりました。このプラットフォームがこれらのニーズにお応えできるよう場となるように、一人でも多くの皆様のご登録をお願いいたします。

《登録方法の問合せ先》

Mail: support@alumni.education.com

問い合わせの際には「卒業生フルネーム・生年月日」「変更があった方は在籍時の苗字」を記述してください。よろしくお願いします。

校友会への 賛助金の御礼

令和6年度の賛助金のお
願いに対して多くの皆さま
からご賛同をいただきました。

令和6年11月1日から令
和7年3月末までの集計
で、27名の皆さまから総額
8万円余りのご協力をいた
だき、感謝し厚く御礼申し
上げます。

お預かりした賛助金は逗
子開成で学ぶ生徒への支援
に有効に活用いたします。

クラブ活動助成、海外留学
支援の他にも卒業生、入学
生への記念品の贈呈。学内
の各種大会やコンテストへ
の記念品の贈呈など様々な
行事に役立てます。

なお、ゆうちょ銀行払込
票にお名前掲載「可」とさ
れた方、会費ペイにより払
い込まれた会員の皆さまの
お名前を掲載しました。

お名前の掲載を希望され
なかった方については、卒
業期別に匿名としていま
す。

旧制中学39期

(1944年3月)

市川 康平

旧制中学41期

(1946年3月)

品川 和司

2025年度 中学入試結果

	1次入試	2次入試	3次入試	帰国生入試
入試実施日	2月1日(土)	2月3日(月)	2月5日(水)	12月26日(木)
合格発表	2月2日(日)	2月4日(火)	2月6日(木)	12月26日(木)
募集人数	150名	50名	50名	若干名
志願者数	476名	457名	562名	46名
名目倍率	3.17倍	9.14倍	11.24倍	—
受験者数	450名	375名	463名	42名
合格者数	217名	85名	103名	25名
実質倍率	2.07倍	4.41倍	4.50倍	1.7倍
入学者数	279名			
合格最高点	416点	415点	384点	☆
合格最低点	290点	311点	317点	
合格者平均点	324.4点	334.4点	339.0点	
受験者平均点	282.6点	279.4点	282.1点	

2025年度大学合格実績

国公立大学	2025年度		2024年度	
	合格	現役	合格	現役
東京大	6	4	4	3
東京科学大	5	4	4	3
一橋大	2		9	7
京都大	2	1	6	5
北海道大	9	8	14	11
東北大	9	8	4	4
大阪大	3	3	3	2
名古屋大	2	2	1	
横浜国立大	11	10	18	16
横浜市立大	2	1	4	4
東京都立大	3	2	3	3
東京海洋大	2	1	6	4
東京学芸大	2	1	1	1
東京外国語大	1	1	1	1
東京農工大	4	3	2	2
電気通信大	2		3	2
千葉大	8	6	3	2
信州大	3	1	2	
新潟大	2	2		
金沢大	3	2		
その他国公立	21	15	20	12
国公立大学合計	102	75	114	87

私立大学	2025年度		2024年度	
	合格	現役	合格	現役
早稲田大	71	64	88	76
慶應義塾大	56	48	51	40
上智大	41	41	42	25
国際基督教大	3	3	1	1
東京理科大	84	61	66	53
明治大	120	103	118	95
青山学院大	53	43	43	33
立教大	23	20	43	31
中央大	43	36	63	50
法政大	55	47	59	47
学習院大	5	4	15	13
立命館大	5	3	11	11
同志社大	11	9	2	2
その他私立大	339	276	370	273
私立大学合計	909	758	972	750

防衛医科大学	4	1
防衛大学校	1	1

医学部	54	25
-----	----	----

高10回(1958年3月)	高27回(1975年3月)
千葉 琢巳	川西 康雄
高15回(1963年3月)	友山 秀済
大村 忠行	高28回(1976年3月)
高16回(1964年3月)	匿名Ⅱ1名
匿名Ⅱ1名	高29回(1977年3月)
高17回(1965年3月)	小池 隆興
匿名Ⅱ1名	高36回(1984年3月)
高19回(1967年3月)	中込 勤
倉田 純男	石渡 明生
高21回(1969年3月)	高37回(1985年3月)
匿名Ⅱ2名	梶 朋広
高22回(1969年3月)	高43回(1991年3月)
匿名Ⅱ1名	山口 靖之

高45回(1993年3月)	高56回(2004年3月)
匿名Ⅱ2名	匿名Ⅱ1名
高54回(2002年3月)	高69回(2016年3月)
伊藤 哲史	匿名Ⅱ2名
高55回(2003年3月)	高70回(2017年3月)
原 宗久	竹ノ内広海
高73回(2020年3月)	匿名Ⅱ1名

(敬称略)
令和7年度賛助金を払い
込みいただいた皆さまのお
名前は、今後の紙面で報告
いたしますので、引き続き
ご協力いただきましたら幸
いです。

今後、賛助金をゆうちょ
銀行から払い込まれる際
は、郵便局の青い払込取扱
票をご利用いただき、次の
校友会本部口座宛にお願
いいたします。



口座記号 0028000
口座番号 75891
加入者名 逗子開成学園
校友会
また、クレジットカード、
口座振替、コンビニ決済を
利用して払込される場合
は、左の二次元コードから
お願いいたします。

おくやみ

ご遺族や各地区会などか
ら寄せられた計報です。
謹んでお知らせします。

高43回	池田 秀康さん
高28回	田中 悟さん
高18回	斎藤 務さん
高17回	和田 聡さん
高17回	板倉 駿夫さん
高15回	下里 秋作さん
高13回	濱田 徹さん
高11回	飯田 利男さん
高10回	門馬 弘さん
高10回	齋藤 友一さん
高4回	秋澤 佳明さん
高3回	高橋純次郎さん



令和7年度春の叙勲
田中秀幸さん(高16回)
静岡大学名誉教授
瑞宝中綬章を受賞
教育に対する功労を賞す
る勲章で、大変名誉あるこ
とだと思います。40数年静
岡大学で教鞭を執っていま
した。
また、逗子開成在学中、
柔道でインターハイに出場
したこともあり、とても嬉
しく思います。

稲村ヶ崎ボート遭難碑清掃

1月25日

逗子開成校友会鎌倉会では毎年ボート遭難の日(1月23日)に近い1月の第4土曜日に稲村ヶ崎公園にあるボート遭難碑の清掃を行っています。今年も鎌倉会幹事5名と52会から5名の参加を得て、薄つすらと雲が空を覆う中、1年間の潮風や飛ばされた砂にさらされた遭難碑の清掃を行いました。

近年、ここからの江の島や富士山の絶景が再認識され、海外からの観光客も含めて訪れる人も多くなっています。鎌倉幕府滅亡に関わる新田義貞、徒渉伝説(龍神伝説)と共にボート遭難碑にも目を向けてもらい、稲村ヶ崎の歴史を知ってもらいたいと思います。

花壇整備

校門を入り左手、海洋教育センターに向かう通路に、綺麗に整備された花壇があるのはご存じだと思います。

この花壇はフラワーサークルの皆さんが、学校の行事に合わせて季節に合った花を植えて整備されています。今年度からその活動を賛助会が引き継ぐことになりました。

今回、6月7日(土)の花壇整備に声をかけていただき、お手伝いをさせてもらいました。春先に植えた花は、卒業式、入学式や体育祭と学校を

訪れる保護者を迎え、役割を終えました。6月以降に行われるホームカミングデー、土曜見学会や父親懇談会などで学校を訪れる方々を迎えるための花壇整備を行いました。

この日は天候に恵まれ、連日25度を超える夏日の中で行われました。中腰で花壇一面に生えた雑草や枯れた花を抜き取る作業は大変で大汗をかきました。新たに季節の花を植えると、花壇は華やかに生まれ変わりました。皆の苦勞が報われたと思います。

今年も6、7月の梅雨時の雨が少なく気温も高くなっています。花壇への水やりの回数も増えてしまい、花壇を維持するのに手間がかかっています。母校を訪れた際には土の状況を見ての水やりが必要です。

この花壇整備には賛助会から8名、PTAから2名の参加がありました。今後も逗子開成を



今年も6、7月の梅雨時の雨が少なく気温も高くなっています。



学祖田邊新之助先生墓参

2月15日

学祖、田邊新之助先生の墓参を毎年命日の2月24日に合わせ、2月の第3土曜日に行っています。今年も鎌倉会幹事4名と校友会本部から3名の参加を得て、2月とは思えない暖かな日差しの中で行いました。

墓所は鎌倉五山第3位の寿福寺の境内にあります。この寺は北条政子が

栄西を開山に建立された臨済宗の寺で、こちらには大佛次郎や高浜虚子のお墓、源実朝と北条政子のものとされる五輪塔があります。鎌倉特有の谷戸の静かな場所、表通りの賑やかさからは隔離されています。

田邊先生は鎌倉の文人との交流も多かったことが伺えます。



東京会総会・懇親会が開催されました

令和6年12月7日(土)東銀座JJK会館にて東京会の総会を開催しました。コロナウィルスの影響が緩和され、広く校友会会員に案内を出しましたが、長い自粛期間の影響で、以前のような出席者は集まりませんでした。

総会では落合会長より、自粛期間の状況の説明や校友会本部の取り組みなどについて説明がありました。

事業報告・決算報告、事業計画案・予算案等議事は承認されました。今

後の課題も明確で、東京会の会員数の減少が大きな問題で、新会員、特に若い世代の会員を増やすための取り組みやイベントの企画など、本部や各地区会と協力して取り組むべきです。

恒例の校歌、応援歌で締めくくり、総会、懇親会は終了しました。

そして、懇親会に移り、久しぶりに集まった校友の近況報告や学生時代の思い出などを語り合い和気あいあいとした時間を過ごしました。

みんなでいく事を確認して総会は閉会しました。



